

**(総説)**

川邊桂, 小池博文: 初収載ジェネリック PICK UP ブデホル吸入粉末剤. 薬事, 62(3): 170-174, 2020.

川邊桂, 小池博文: 初収載ジェネリック PICK UP メマンチン塩酸塩. 薬事, 62(13): 106-110, 2020.

**(著書)**

赤瀬智子, 佐橋幸子ほか: これならわかる! 看護に役立つすりの知識. ナツメ社. 2020, 8.

**(学会等発表)**

小森智也, 山本幸二郎, 岡村央, 小池博文, 佐橋幸子: ミコフェノール酸モフェチル再投与後に低アルブミン血症が原因で副作用が発現したと考えられる1例. 第18回かながわ薬剤師学会大会, 横浜, 2020, 1.

Yasutaka Sakamoto, Hikaru Isono, Hirofumi Koike, Yuki Enoki, Kazuaki Taguchi, Maki Hagihara, Kenji Matsumoto, Hideaki Nakajima, Yukiko Sahashi: A post-transplantation patient in whom a specific interval was required until the blood concentration of fluconazole reached a steady state. 第93回日本薬理学会年会, 横浜, 2020, 3.

坂本靖宜, 鈴木智代, 川邊一寛, 榎木祐紀, 田口和明, 加藤英明, 松元一明: 造血器腫瘍患者及びそれ以外の患者における candida 血症の原因菌と薬剤感受性比較. 第68回日本化学療法学会総会, 神戸, 2020, 9.

坂本靖宜, 磯野ひかる, 榎木祐紀, 田口和明, 松元一明: 造血器腫瘍患者におけるフルコナゾールの母集団薬物動態解析. 第68回日本化学療法学会総会, 神戸, 2020, 9.

川邊桂, 小池博文: ペン型インスリン製剤における院内フォーミュラリ導入効果と外来処方への影響. 第22回医療マネジメント学会学術総会, 京都, 2020, 10.

川邊桂, 志村明日香, 畠山成寛, 古川大輔, 小池博文, 戸谷義幸, 佐橋幸子: 当院における院内フォーミュラリ導入事例と医薬品費削減効果に関する検討. 第30回日本医療薬学会年会(WEB開催), 2020, 10.

小森智也, 勝亦秀樹, 山下美乃里, 森直樹, 小池博文, 佐橋幸子: 代表的な8疾患の網羅に向けた取り組みと学習状況の変化に関する調査. 第30回日本医療薬学会年会(WEB開催), 2020, 10.

遠又未佐子, 松井周一, 岡村央, 勝亦秀樹, 後藤洋仁, 小池博文, 佐橋幸子: 治験薬管理業務におけるトレーサビリティシステムを搭載した保冷庫(キュービックス)の温度変化に関する検討. 第30回日本医療薬学会年会(WEB開催), 2020, 10.

金城 梢, 長井 絵里奈, 長井 雅子, 勝亦 秀樹, 小池 博文, 佐橋 幸子: 院内連携・地域連携に基づく持参薬管理業務の充実化. 日本病院薬剤師会 関東ブロック第 50 回学術大会(WEB 開催), 2020, 10.

小森智也, 勝亦秀樹, 森直樹, 山下美乃里, 石村真琴, 小池博文, 佐橋幸子: 代表的な 8 疾患の理解度向上に向けた取り組みと理解度に影響する因子の検討. 日本病院薬剤師会 関東ブロック第 50 回学術大会(WEB 開催), 2020, 10.

井出和男, 岡村央, 金子美玲, 坂本靖宜, 川邊一寛, 加藤英明: 免疫関連有害事象による対症療法中にカテーテル関連血流感染症を発症した一例. 第 68 回日本化学療法学会西日本支部総会, 福岡, 2020, 11.

坂本靖宜, 磯野ひかる, 榎木祐紀, 田口和明, 萩原真紀, 松本憲二, 小池博文, 中島秀明, 佐橋幸子, 松元一明: 造血器腫瘍患者におけるフルコナゾールの母集団薬物動態解析および 200 mg/日予防投与での治療効果予測. 真菌症フォーラム 2020 学術集会(WEB 開催), 2020, 11.

畠山成寛, 寒川 整, 古川大輔, 小池博文, 加藤英明, 中島秀明, 佐橋幸子: HIV/HBV 共感染患者のニューモシスチス肺炎に対するステロイド併用治療によりセロコンバージョンを起こし肝炎が鎮静化された 1 例. 第 34 回日本エイズ学会(WEB 開催), 2020, 11.

若杉 正, 勝亦 秀樹, 鈴木 太一, 小池 博文, 佐橋 幸子, 櫻井 美恵子, 渡邊 克, 伊東 香里, 菊地 龍明: 注射薬の適正使用に向けた段階的な病棟配置薬の削減. 第 15 回医療の質・安全学会学術集会(WEB 開催), 2020, 11.

### (その他)

荒井幸子: 薬理学 臨床における薬理学の応用【がん疼痛治療薬】. 横浜市立大学医学部 2 年次生講義, 横浜, 2020, 1.

荒井幸子: 臨床薬理学. 湘南医療大学認定看護師教育課程講義(WEB 開催), 2020, 6~7. (全 8 コマ)

荒井幸子: 高度実践薬理学 症状調整と与薬管理Ⅱ: 疼痛治療薬~看護師の力で患者満足度が変わる! ~. 横浜市立大学医学部医学研究科看護学専攻博士前期課程講義, 横浜, 2020, 10.

荒井幸子: がん看護学特講Ⅳ 緩和ケア薬理学. 横浜市立大学医学部医学研究科看護学専攻博士前期課程講義, 横浜, 2020, 11.

井出和男: 高度実践薬理学 感染症と与薬管理 感染症治療薬~感染症から患者を守るために必要な知識~. 横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻博士前期課程講義, 横浜, 2020, 10.

小池博文：これから始める病院フォーミュラリー～糖尿病製剤、抗菌薬などの導入事例を踏まえて。日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会企業共催セミナー17，東京，2020 10.

小森智也：外来がん化学療法における副作用の見極め方。外来がん化学療法の質向上の為の薬薬連携セミナーin 金沢区，横浜，2020，11.

小森智也：薬を知って上手に付き合おう～ステロイドの正しい知識～。ウィリング横浜主催研修「専門性を高める」医療基礎知識セミナー，横浜，2020，11.

畠山成寛：抗 HIV 薬と職業的曝露時の対応。令和 2 年度 HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業 実地研修，横浜，2020，11.

川邊桂：病院フォーミュラリーの作成とマネジメント～糖尿病用剤を中心に～。神奈川県病院薬剤師会中小病院診療所委員会 診療所対象研修会，神奈川，2020，12.

小森智也：婦人科領域における術前中止薬について。令和 2 年度第 3 回横浜市薬剤師会学術研修会，横浜，2020，12.

桑原健，小池博文，谷口俊文，松下修三：世界と日本におけるジェネリック薬・フォーミュラリー。HIV 感染症と AIDS の治療 11(1)：4-12，2020.

國分洋，小池博文他，ダイヤモンド・プリンセス号における（公社）神奈川県病院薬剤師会の支援報告。神奈川県公衆衛生学会誌（66）：34-34，2020.